

## 2024 年度 フィールドスタディ (FS) 実施企画

授業コード：AA0180

※奨励金のカテゴリーは企画時点のものであり、今後変更される可能性があります。

奨励金の最終的な支給金額はFSの日程終了後に決定します。

テーマ タイトル	生活用品と建物から考える人と社会
担 当 者	板橋美也
実 施 時 期	2月17日・21日・28日、3月10日・14日・17日・24日。現地訪問（計4回）はすべて日帰りです。
実 施 場 所	東京都目黒区、大田区、小金井市、北区
協 力 機 関	なし
募 集 人 員	7名
学 習 目 的	私たちが日々ありきたりなものとして目にして触れている生活用品や建物は、私たちの生活や社会を反映すると同時にそれらを形作ってきたものでもあります。このFSでは、過去から現在までの生活用品や建物とそれらを保存・展示する取り組みについて学ぶことで、私たちの日常的なものを通して人と社会の関係性について考える視点を身につけます。
行 程	<ul style="list-style-type: none"><li>・2月17日事前授業（生活用品編）：近代以降のデザイン史と現地訪問の着眼点</li><li>・2月21日現地訪問①日本民藝館・旧前田邸（目黒区）</li><li>・2月28日現地訪問②昭和のくらし博物館（大田区）</li><li>・2月28日事後授業（生活用品編）1：①②訪問後、現地訪問を通して関心を持ったテーマでグループ発表準備</li><li>・3月10日事後授業（生活用品編）2：グループ発表</li><li>・3月10日事前授業（建物編）：近代以降の建築史と現地訪問の着眼点</li><li>・3月14日現地訪問③江戸東京たても園（小金井市）</li><li>・3月17日現地訪問④URまちとくらしのミュージアム（北区）</li><li>・3月17日事後授業（建物編）1：③④訪問後、現地訪問を通して関心を持ったテーマでグループ発表準備</li><li>・3月24日事後授業（建物編）2 &amp; 全体の振り返り：グループ発表（建物編）、全体の振り返りとレポートについての説明</li></ul>
現地訪問の際の安全対策	感染症の流行等の状況に応じて、マスク着用の推奨、密を避ける、などの対策を取ります。
費 用	約1800円（入館料の合計額。自宅からの交通費・昼食代は別途各自負担。）
奨励金の カテゴリー （ 予 定 ）	A
選考基準	志望調査票をもとに選考し、必要に応じて面接も行います。
事前・事後 学習の予定	生活用品編と建物編のそれぞれについて1回の事前授業と2回の事後授業を行います（事前授業合計2回・事後授業合計4回）。事前・事後授業は基本的に対面で行いますが、教室確保が難しい場合はオンラインで行います。

注 意 事 項	(1) 本コースは新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止または時期・内容を変更する可能性があります。 (2) 中止となった場合は、下記の代替措置によって相当する学習をおこない、単位を取得することができます。 (3) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。中止となった場合でも費用負担をしてもらう場合があります。
中止の場合の代替措置	動画の視聴とそれにもとづいたオンラインでのグループワーク、授業をオンラインで行う、などの措置を取ります。
評価方法	事前授業・事後授業・現地訪問への参加姿勢、グループ発表への貢献度、レポートから総合的に評価します。